

えほんのおへや通信



2017年10月1日(日)発行 サンガこども園 ☎046-255-0148

朝夕は肌寒くなってきました。お彼岸が過ぎ、もうすぐ十五夜です。本格的な秋ですね。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」10月号の紹介。

<p>こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「じゅう じゅう じゅう」 あずみ虫 作</p> <p>卵をパカッ。「じゅう じゅう じゅう」とフライパンで焼いて目玉焼きのできあがり。ソーセージ、にんじんも「じゅう じゅう じゅう」と焼きます。次の場面では・・・</p> 	<p>こどものとも 年少版 2～4歳向き</p> <p>「て」 とのむら せつこ 作</p> <p>大きくてごつごつした「おじいちゃんの手」、少しシワがあるけれど温もりが感じられる「おばあちゃんの手」、がっしりと力強い「おとうさんの手」……。</p> 
<p>こどものとも 年中向き 4～5歳向き</p> <p>「にかいだてバスにのって」 せき なつこ 作</p> <p>イギリス・ロンドンには、赤い2階建てバスがたくさん走っています。きょう、ぼくはお父さんとバスに乗ってお出かけ。手を挙げてバスを止め、狭い階段を上がって最前列の「特等席」に着くと……</p> 	<p>こどものとも 5～6歳向き</p> <p>「はしを わたって しらない まちへ」 高科 正信 文 中川 洋典 絵</p> <p>いつも仕事で忙しいお父さんが、日曜日に出かけようと誘ってくれた。陸と島をつなぐ大きな橋があって、そこを歩いて渡るんだって。海の上を歩くって、どんな気分なんだろう……？</p> 
<p>ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き</p> <p>「きょうは たびびより」 とうごう なりさ 作</p> <p>ある秋の日、岬の先端の林にヒヨドリが集まってきました。もっと暖かく食べ物の多い南の土地をめざして、これから海を渡るのです。その瞬間を逃すまいと待ちかまえるのは……。</p> 	<p>他にこんな絵本も購入しました。</p> <p>「しろくまちゃん ぱんかいいに」 作：わかやま けん 0歳から</p>  <p>こぐま社</p> <p>お母さんと買い物に行ったしろくまちゃん。途中、抱っこでポストに手紙を入れたり、ケーキを買ってもらえずに泣いたり。帰りには公園のすべり台に夢中になったり…。</p>  <p>シンプルな形、明るく印象的な色、幼児の生活の中からテーマをとった親しみやすいストーリーです。 世代をこえて圧倒的支持を受けるロングセラー絵本です。</p> <p>※年齢は目安です。</p>
<p>【雑感】</p> <p>若い人たちの言語が気になります。何を見ても聞いても「マジ?」「ヤバイ」「マジヤバイ」の3種類。正確には2種類とその組み合わせです。若者の言葉はいつの時代にもあるものですが、同じ世代で使うのはよいのですが、公の場や目上の人に対しては使うべきではありません。</p> 	